

手足口病の治療を受けられる患者様へ

かとう小児科

	初診日	翌日以降
月日	月 日()	
お薬	有 → 1日()回()日間で内服して下さい。 無	口の中の痛みが強い時は、熱が高くなくても痛み止めとして解熱鎮痛剤の坐薬を使ってもかまいません。
診察	手足口病の疑いのある方は、別室でお待ちいただくことがあります。	
症状(経過)	手、足、口に小さい赤い水ぶくれができて自然に治っていく軽い夏風邪の一種です。乳児から幼児にかけて多く学童にも発生します。 潜伏期間は2～5日です。手足口を中心に直径1～5mmの赤い水疱疹ができます。乳児では臀部、膝、肘などにもひろがっていることもあります。 また、発熱は無いかあるいはあっても38℃前後で2～3日で解熱します。口内水疱疹のため痛みがあります。	
食事	痛い場合は、のどにしみない食事や、水分を少量ずつ与えて下さい。(つるりと口に入るもの、薄味のもので熱すぎたり、冷たすぎたりせず人肌程度のもの。)	
入浴	発熱している間は、体力の低下を防ぐためにも避けてください。	
登園・登校 のめやす	出席停止扱いになります ので、園や学校へ連絡して下さい。	登園、登校基準は発熱、食欲不振、頭痛、吐き気がない時 になっています。 治癒証明書が必要な方は、園や学校所定の用紙をこの日に持ってきて下さい。 ※治ってからも2週間ほど便の中に、ウイルスが排出されるので、他の子にうつすおそれがあります。 この期間はプール遊びは他の子の為にも控えて下さい。 (川、海遊びはかまいません。)
その他	大多数はコクサッキーA16型、エンテロウイルス71型というウイルスですが、その他にコクサッキーA6型、A9型、A10型なども原因となります。同時に2、3種類が流行することもありますので、2回、3回と繰り返しかかることも珍しくありません。エンテロウイルス71型による場合は無菌性髄膜炎になることもあるので発熱、嘔吐、頭痛などに注意が必要です。また、まれに麻疹(はしか)と同時にかかると重症になります。	